

会 議 録

- 1 附属機関の会議の名称 「みと好文カレッジ運営審議会」
- 2 開催日時 令和5年8月9日（水） 10時00分から11時30分まで
- 3 開催場所 水戸市総合教育研究所2階 研究室1
- 4 出席した者の氏名
  - (1) 委 員 松橋義樹，マーサー川又，中庭陽子，市原良子，助川公継，小磯重隆，星由香，海老澤裕
  - (2) 執行機関 湯澤康一，堀晴子，菊池精一，橋本裕子，檜山紘大
- 5 議題及び公開・非公開の別
  - (1) 令和5年度みと好文カレッジ運営方針及び主要施策について（公開）
  - (2) 令和5年度みと好文カレッジ事業実施計画について（公開）
  - (3) その他（公開）
- 6 非公開の理由
- 7 傍聴人の数（公開した場合に限る。） 0人
- 8 会議資料の名称
  - (1) 令和5年度第1回みと好文カレッジ運営審議会
  - (2) 令和4年度みと弘道館大学市民センター事業実績一覧（別冊）
- 9 発言の内容

**委員長** それでは、議事に入らせていただきます。  
本日の案件につきましては、全て公開とさせていただきますが、よろしいでしょうか。  
それでは、(1)令和5年度みと好文カレッジ運営方針及び主要施策について、事務局から説明をお願いします。

**執行機関** ((1)について、資料に基づき説明。)

**委員長** ありがとうございます。それでは、事務局の(1)の説明について、皆様から御意見や御感想等がございましたらお願いします。

**\_\_\_委員** 内容についてはではないのですが、東湖塾であったり、好文塾であったり、みと好文カレッジで使用しているこれらの名称は、水戸の歴史にダイレクトに関わる名称であると思うのです。「東湖」は藤田東湖先生の東湖でしょうし、みと好文カレッジの運営のベースが少子・高齢化や、子育て、地域等に関わるようなもので

あるということを踏まえまして、そもそも「東湖塾」や「好文塾」といった名称をつけるきっかけは何だったのかを教えてくださいたいと思います。「みと好文カレッジ」という名称も素晴らしい名称だと思いますし、コンセプトも素晴らしい、「東湖塾」や「好文塾」といった名称も本当に素晴らしいので、事務局の方でわかれば教えてもらえればと思います。

**執行機関** どのような経緯でこのような名称をつけたのかはわからないのですが、「東湖塾」や「好文塾」といった名称が、研修内容を踏まえるとわかりにくいという御意見もいただいております、もう少しわかりやすい名称にした方がいいのかとも思っています。

\_\_\_\_委員 藤田東湖先生が果たしてきた役割がわかった上で、「東湖塾」という名称がついているのだらうという期待を込めて質問させていただきました。

**執行機関** 調べておきます。

\_\_\_\_委員 お願いします。

**執行機関** それでは、他にはいかがでしょうか。

\_\_\_\_委員 本日の机上配布の資料で「令和5年度水戸市市民センター運営方針及び重点目標について」というものがありますが、これはどのタイミングで確認等をするのでしょうか。

**執行機関** こちらは市民センターの運営方針ですので、各市民センターにおける運営審議会で審議を受けているものになります。

\_\_\_\_委員 今日の会議の中では、これは参考資料ということですか。

**執行機関** 参考資料です。

\_\_\_\_委員 市民センターに関する事業等を、この後具体的に見ていく中での参考にということですか。

**執行機関** そうということです。

\_\_\_\_委員 わかりました。ありがとうございます。

**委員長** 市民センターの事業の中には、「東湖塾」という名称は入ってこないのですね。

**執行機関** 市民センターでやっている事業は「みと弘道館大学」という名称をつけております。

**委員長** 「みと弘道館大学」という名称を市民センターでは使っていますが、「東湖塾」という名称は使っていない。「東湖塾」というのは市民センター職員を対象としたみと好文カレッジの研修ということですね。

\_\_\_\_委員 「好文塾」の方は、みと好文カレッジと市民センターの共催なので、「市民センター事業実績一覧」の6ページに好文塾の実績が載っているということですね。

**委員長** 後はいかがでしょうか。

(発言なし。)

**委員長** 差し支えなければ、この後、具体的にひとつひとつの事業を見ていくことになりますので、その時に何かあれば御意見を伺うということでもよろしいでしょうか。

それでは、(2)令和5年度みと好文カレッジ事業実施計画について、事務局から説明をお願いします。

**執行機関** ((2)について、資料に基づき説明。)

**委員長** ありがとうございます。それでは、(2)については、少しずつ区切りながら見

ていこうと思いますが、まず4ページからの「市民センターの支援・指導」の内容について、皆様から何か御意見、御質問等ございましたら、お願いします。

\_\_\_\_委員 例えば、我々がオブザーバーのような形で、職員研修を見に行くことは可能なのですか。

執行機関 可能です。

\_\_\_\_委員 ありがとうございます。

委員長 公開で行っているということですね。

執行機関 はい。見学の際は、事前に連絡をいただければありがたいです。

委員長 後はいかがでしょう。

(発言なし。)

委員長 会計年度任用職員を対象とした職員研修がありますが、年度が変わっても職員を続けている方はいらっしゃるのでしょうか。

執行機関 結構多くいます。

委員長 そうすると、前年度どのような事業をやったかをわかっている方も多くいらっしゃるということですね。

執行機関 ただ、コロナ禍となってから3年間、ほとんど事業をやっていない市民センターが多いので、そのブランクから支障をきたしている部分はあると思います。

委員長 ありがとうございます。市民センターの支援・指導について、他にいかがでしょうか。

副委員長 感想で申し訳ないのですが、6月19日に行われた全体研修の内容が、今必要なことが盛り込まれていて、大変良い研修になったのではと思いました。市民センターの職員は市民の方と直接触れ合う場面がありますので、倫理や対応の仕方、公文書等も大事なところで、とても必要な研修だったのではと感じました。実際にこの研修に参加された方の反応はいかがでしたでしょうか。

執行機関 普段から窓口対応等で心配なことがあるので、こういった機会があつてよかった等の意見がありました。また、意見交流会で、他の市民センターの職員と交流ができたことは有意義だったという意見もありました。

副委員長 ありがとうございます。

委員長 後はいかがでしょう。

(発言なし。)

委員長 それでは、また何かありましたら御意見いただければと思います。

次に、6ページからの「みと弘道館大学の開催」について何かありましたらお願いします。

\_\_\_\_委員 7ページの「まちづくりに関連した講座の開催」、「現役世代を対象とした講座の開催」については、どちらも詳細については調整中となっていますが、どちらも最初に「みと好文カレッジ単独で」と書いてあります。これは企業や地域の団体等と連携せずに実施するという意味なののでしょうか。

執行機関 例えば、市民センターと共同で実施するというようなことではなく、主催がみと好文カレッジのみになるという意味です。

\_\_\_\_委員 どういう講座になるのかはわかりませんが、例えば、どなたか講師の方にお越しただいて、講義や演習を行うという可能性もあるということですか。

**執行機関** はい。講師は外部からお呼びします。

**\_\_\_委員** わかりました。今年度中に実施予定ということですが、あわてて実施するよりは、時間をかけてでも講師の選定や事業の進め方等を丁寧に御検討いただければと思いました。

**委員長** 「現役世代を対象とした講座の開催」については、働き盛りの世代を対象とした講座が何かできないか考えているということでしたが、委員の皆様から何かテーマについて参考となるような意見がありましたら出していただいて、検討していただくということも可能かと思いますが、何かありましたらお願いします。

**\_\_\_委員** 現役世代の方に対するテーマとなると、たくさんありすぎると思うのですが、例えば、事業の中に「みと弘道館大学」等、幕末前後のワードが多く含まれているみと好文カレッジが実施するというのを踏まえると、水戸の史学であるとか、弘道館についての勉強であるとか、その辺の基礎の基礎を現役世代に学んでもらうというようなことはいかがでしょうか。また、過去にやっているかもしれませんが、現役世代だからこそ、G o o g l e M e e t や Z o o m での開催等、何か新しい取組をひとつ入れてもいいのではないかと思います。

**委員長** 後はいかがでしょう。

**\_\_\_委員** イベントの企画というのは、細かいところまでやっていくとかなり大変なのですが、商工会議所であったり J C であったりと、ノウハウを持っているメンバーが結構います。地域の方々を巻き込まないといけないこともたくさんあると思うのですが、そういうときは、経済団体の方でも協力できる部分はあるのではと思いました。

**\_\_\_委員** イベントの企画を構成するにはこういうことが必要だというようなことを学ぶ講座もおもしろいかもしれないですね。

**委員長** ありがとうございます。後はいかがでしょう。

**\_\_\_委員** 今の \_\_\_ 委員、 \_\_\_ 委員のお話を伺っていると、「まちづくりに関連した講座の開催」、「現役世代を対象とした講座の開催」については、併せてしまった方が効果的なかもしれないと思っています。現役世代の方が地域のまちづくりや活性化に関わっていくきっかけになるようなことがこのタイミングでできると、来年度以降、それを拡大した形で進めていけるでしょうし、例えば、水戸市生涯学習サポーターの活動と連動したり等、みと好文カレッジでこれまでやってきた様々な事業を活かしながら、それぞれの事業をタイアップさせることで、スケールの大きいものに膨らませていけるといいのかと思いました。

**委員長** ありがとうございます。他にはありますでしょうか。

**\_\_\_委員** 何のためにまちづくりをするのか、そのベースがはっきりしていないと、ピンとこないと思うのです。確か、水戸市内の自治会・町内会の加入率は 51% だったと思います。しかし、けやき台や常磐の杜といった新興住宅地の加入率は、確か 90% を超えていて、かつ、子どもも多くいます。一方で、双葉台等は加入率が激減しており、シニアの方がたくさんいる状態になっている。「まちづくり」と「現役世代」を関連付けるのであれば、今回のテーマに関しては、地域を担う子育てができるような世代を対象にとなってくると思うのですが、水戸市内でも加入率が高い地域はどこなのかということ踏まえて、マイナスなものをプラスに持って

行くことより、プラスをさらにプラスに持って行くことの方が遥かに楽なので、遥かに楽な方を選択して、時間を費やしていった方がよいのではと思いました。

**委員長** ありがとうございます。後はいかがでしょうか。現役世代や地域でどんなニーズがあるのか、ニーズを掘り起こす方法、そういったことで何かありますでしょうか。広報の仕方等も関係してくると思います。

**\_\_\_委員** 「現役世代」という言葉に私はあまりいい印象を持たないのですが、この言葉は硬い言葉で言えば「勤労者」という法律用語になると思います。しかし、「勤労者」という言葉もパツとしないので、「働いている人」という言葉にする方が素直なのかもしれません。「現役世代」でない人からすると、少し反感を買うかもしれませんので、「働いている人」という表現の方がいいかもしれません。

**委員長** 後はいかがでしょうか。  
(発言なし。)

**委員長** 特になければ、最後にまた通してお伺いします。

次に、8ページの「子育て応援塾の開催」について何か御意見等ございましたらお願いします。

(発言なし。)

**委員長** それでは、また後で何かあれば御意見いただければと思います。

次に、9ページからの「「さきがけ塾」の開催」について、何かありましたらお願いします。

(発言なし。)

**委員長** それでは、10ページからの「「さきがけ塾」塾生との協働企画講座」、「ICT等の新しい技術に関する講座・研修、新しい技術を活用した講座・研修の開催」、「子育て支援講座の開催」について何かありましたらお願いします。

**\_\_\_委員** 「パパといっしょに夢らんど」について、このような父親を対象とした事業は重要だと思っているのですが、いわゆる「おやじの会」というような、子育て中の父親グループというのは増えているのですか。それとも、呼びかけても、そこまで増えてはいないのでしょうか。わかれば何グループくらいあるのか、数字を教えてください。例えば、稲荷第二の地区にもありませんか。

**\_\_\_委員** あるとは思いますが、活動はしていないと思います。

**執行機関** 地区によって、ある地区とない地区があると思うのですが、数字の把握はできておりません。

**\_\_\_委員** 今ですと、どうしても子育てはお母さんの方に行ってしまう中で、お父さんの子育て参加は極めて重要になってくると思うので、父親グループの数が比率として伸びているのか、停滞しているのか、呼びかけてはいるけど減少しているのか、忙しくてそのような交流ができないという方もたくさんいると思うので、数字を出すことができるのであれば、今後よろしく願いいたします。

**委員長** 「パパといっしょに夢らんど」は既に実施して、抽選になったのですね。

**執行機関** パート1は抽選になりました。

**委員長** 昨年度は、全3回すべて参加できる方を対象としての申し込みだったのですね。それを今年度は、1回でも参加できる方は申し込めるようにしたところ、抽選になったということですか。

**執行機関** パート1は土曜日開催だったので、昨年度と同様、全3回すべて参加できる方を対象としました。平日開催のパート2の方は、昨年度は応募人数が少なくて開催中止になってしまったので、前回の運営審議会でもいただいた御意見を参考にさせていただき、今年度は1回でも参加できる方は申し込めるような形で、これから募集をかけるということなのです。

**委員長** わかりました。

**\_\_\_委員** 確認なのですが、お父さん向けに「親子運動遊び」、「親子アート遊び」、「親子ヒップホップ」を開催しているということですか。

**執行機関** はい。

**\_\_\_委員** わかりました。お父さん向けであれば、他にもこれだったらやってみようというのが、いろいろありそうな気がします。

**委員長** それではよろしいでしょうか。

続いて、12ページからの「育児ボランティア「えくぼ会」」、「国・県・他市町村・企業・NPO等民間非営利団体・教育機関との連携の推進」、「水戸市訪問型家庭教育支援事業」について、何か御意見等ありましたらお願いします。

**\_\_\_委員** 記憶が定かではないのですが、明治安田生命保険相互会社との連携事業は以前から行っていましたでしょうか。

**執行機関** 昨年度は行いました。

**\_\_\_委員** 具体的にはどのような講座の内容で実施したのか教えていただけますか。

**執行機関** 高齢者向けが多いのですが、良い睡眠の取り方、エンディングノートの書き方、相続関係といった内容が多いです。

**\_\_\_委員** 保険会社ならではのテーマですね。これは、単発での講座になるのですか。

**執行機関** はい。ただ、2回や3回シリーズの講座もあります。

**\_\_\_委員** これをみると好文カレッジから市民センターに、こういうのがあるので実施してみませんかと言っているということですか。

**執行機関** そうですね。

**\_\_\_委員** 実際、昨年度はいくつぐらいの市民センターで実施したのですか。

**執行機関** はっきりとは数えていないのですが、講師料は無料ですので、結構実施している市民センターは多いです。

**\_\_\_委員** 毎年、1市民センターずつ実施していくわけではないということですね。

**執行機関** はい。各市民センターから直接、明治安田生命に連絡を取って申し込む形になります。

**\_\_\_委員** みと好文カレッジは情報提供をするということですね。

**執行機関** はい。明治安田生命から届くパンフレットがありますので、各市民センターに配布して、申し込んでいただくということです。

**\_\_\_委員** ありがとうございます。

**委員長** 後はいかがでしょうか。

**\_\_\_委員** 全体を通してなのですが、最近、鬱に関心がありまして、子育ての中で、鬱というのは潜在的にかなり存在していると思うのです。また、市民センターへの支援・指導において、クレーム対応についての研修を行ったという説明もありましたが、市民センターでは、職員がかなり理不尽なクレームを受ける場面も多く、それが

原因で心を病んでしまうこともあります。鬱は心が弱いからなるものではなく、心の風邪という概念に最近が変わってきました。鬱は誰でもなるものなので、鬱にどのように向き合うか、また、鬱になってしまった場合、周りの人がどのように支援するのか、どのように付き合っていくのかというような支援について、担当は福祉関係の部署になるのかもしれませんが、今後の検討の材料にさせていただければと思います。

**委員長**           ありがとうございます。後はいかがでしょうか。全体を通してでも結構です。

**\_\_\_\_委員**       最近、自然災害が増えていることを踏まえ、水戸市で過去にやっていないことはないでしょうか、最近新たに防災関係の事業をやっていこうというような話はあるのでしょうか。

**執行機関**       市民センターにおいて、気象台から講師を派遣していただいて、市民向けに講座を開催するというようなことはやっております。

**\_\_\_\_委員**       それは「みと弘道館大学市民センター事業実績一覧」にも載っていますか。

**執行機関**       載っております。例えば、36 ページには、常磐市民センターの寿大学で「地震・津波災害の防止・軽減にむけて」という講話が、42 ページには、稲荷第二市民センターの高齢者教養講座で「地球温暖化について」という講話が行われたことが載っており、他にもいくつか載っております。また、水戸市の防災・危機管理課の職員を講師として講座を開催する場合があります。

**\_\_\_\_委員**       学校でも、防災について、自分で自分の身を守りつつ皆で対応できるようにということが話題に上がっていて、地域と連携して、地域全体として防災の力を身につける重要性が叫ばれています。講座という形ではなくてもいいのですが、事業の中に少しでも防災や減災といったテーマを取り入れていければと思っており、これはまさに現代的課題のひとつの代表的な部分でもあるので、今すぐにというわけではありませんが、今後、検討していただければと思います。

**委員長**           後はいかがでしょうか。

**\_\_\_\_委員**       お父さんの子育てに関する事業についてですが、ミオスのぽかぽかつどの広場では、お父さんも一緒に参加している御家族が増えています。土曜日ですが、初回はお父さん・お母さん・お子さんの御家族3人で来て、次の回はお父さん・お子さんの2人で来られるようすると、お母さんはリフレッシュする時間も取れるし、普段、お父さんと接する時間があまり取れないお子さんにとっても、お母さんばかりではなく、お父さんと接することができます。ぽかぽかつどの広場では、たまたま何組か、気が合ったお父さん・お子さん同士がいたようで、自然にお父さん同士で情報交換が行われるといったようなこともあったようです。このような様子を見ていて、最近は積極的に子育てに関わろうというお父さんが増えていると感じています。平日も、平日お休みのお父さんが、お腹の大きいお母さんのサポートで来るというようなこともあり、お父さんも頑張っていると感じました。

また、中学生についてですが、中学生は自由な時間が本当になくなるのだと感じています。その束の間の自由な時間を、学校でもなく、塾でもなく、友達と気兼ねなく会える場所があればと思っています。図書館は静かにしなければならないし、市民センターも利用できる時間や場所等の制限があつて利用しにくいので、

子どもが親の目を気にせず気軽に、かつ安全に友達と会えるような場所がほしいという声もありましたので、お伝えしておきます。

**委員長** ありがとうございます。様々な意見が出てきておりますが、後はいかがでしょうか。

**\_\_\_委員** 2点質問があるのですが、みと好文カレッジと市民センターはイコールではないので、役割分担があると思います。市民センターは、地域コミュニティと生涯学習、地域の防災も担っていると思います。その生涯学習の部分において、みと好文カレッジと市民センターが連携をするという理解を私はしているのですが、1点目として、みと好文カレッジと市民センターの関係性について教えていただきたいです。2点目として、みと好文カレッジが事業を行う際の対象者について、「市民」だけではなく、「市内に勤務している人」も対象者とする、会社の人事課にアプローチするようなこともできると思うのですが、「市内に勤務している人」も対象者となり得るのか教えていただければと思います。

**執行機関** 2点目の質問につきましては、対象者は基本的に「水戸市在住又は通勤通学している者」としております。

**\_\_\_委員** そうすると、パパ関係の募集や在職関係の募集については、一市民向けに広報する以外に、企業ルートを使って広報したりすると、もっと幅広い展開ができるのではと思います。希望としては、将来的な運営方針の中にも、「市内通学通勤者」という文言が入ると、イメージが変わると思います。

**委員長** ありがとうございます。後はいかがでしょうか。  
(発言なし。)

**委員長** **\_\_\_委員**、子育て等について事業計画等もありますが、いかがでしょうか。

**\_\_\_委員** このような場に参加させていただいたのは初めてで、勉強させていただいたことが多々ありました。このような様々な活動があることがわからない部分もあったので、情報を周囲にもお話ししたいと思います。

**委員長** ありがとうございます。後はいかがでしょうか。  
(発言なし。)

**委員長** それでは、他に意見がなければ、(3)その他に入りたいと思いますが、事務局から何かありますでしょうか。

**執行機関** 特にありません。

**委員長** それでは、以上で、全ての議題が終了いたしました。委員の皆様には、円滑な進行に御協力をいただきまして、ありがとうございました。